

2015 年 11 月期 第 2 四半期

# 決算説明会資料

2015 年 7 月 23 日 (木)



**イワキ株式会社**

(東証 1 部 : 8095)

連結業績の概況

2015年11月期 通期の見通し

主要子会社の取り組み

## 連結業績の概況

イワキ・グループ  
とは

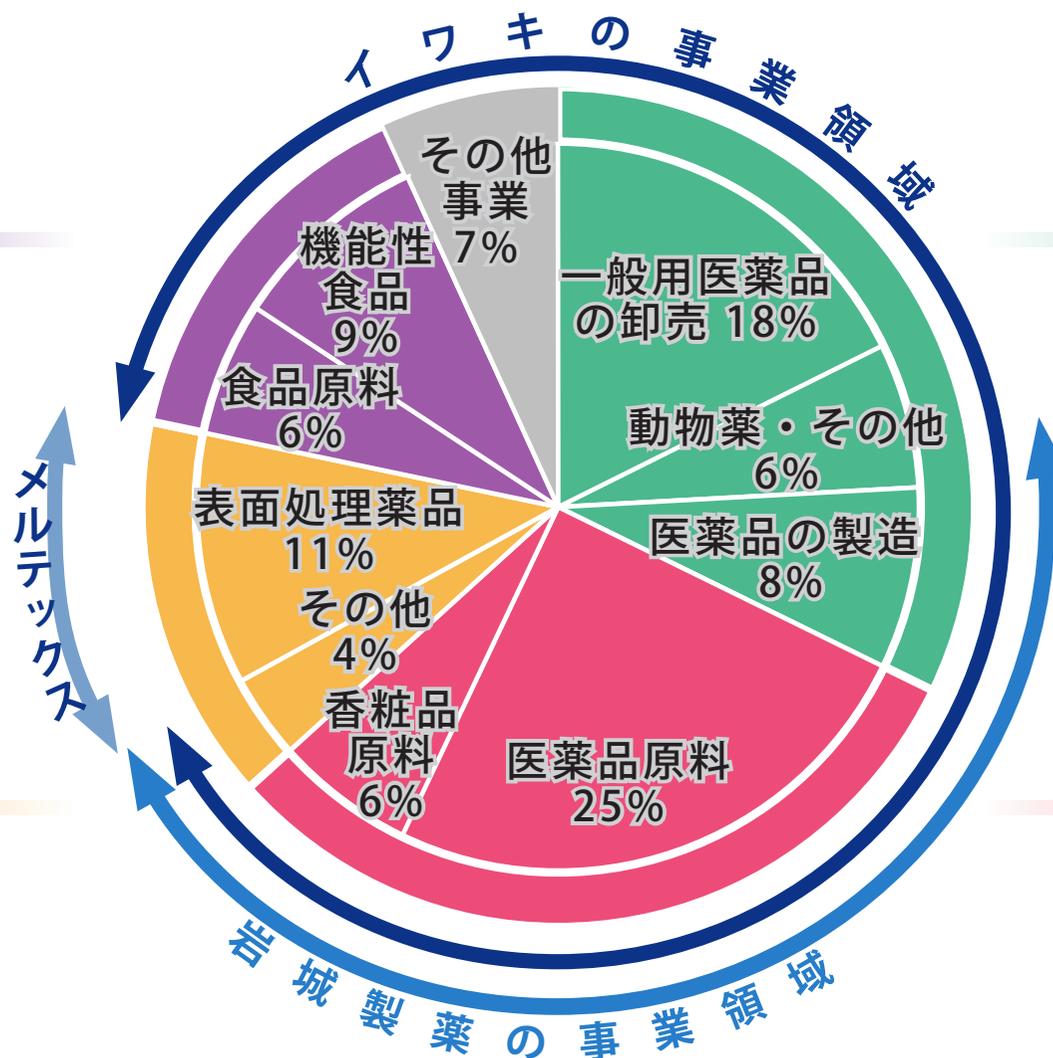
「医薬品」を中心に  
「研究開発」・「製造」から「販売」までの一連の事業活動において  
「原料」から「製品」までの幅広い商品・サービスを提供しています

食品原料・  
機能性食品事業

15%

化成品事業

15%



医薬品事業

32%

医薬品原料・  
化粧品原料事業

31%

2015年11月期第2四半期は前年同期に比べ増収・減益となりましたが、売上高、営業利益、経常利益はいずれも期初の予想を上回りました。

(単位：百万円)

	2014年11月期 第2四半期	2015年11月期第2四半期				
	実績	実績	前年同期 増減率	前年同期 増減額	(2015/1/14) 業績予想	予想比
売上高	26,736	27,516	2.9%	780	26,000	105.8%
医薬品	8,744	8,945	2.3%	200		
医薬品原料・化粧品原料	8,260	8,392	1.6%	132		
化粧品	3,829	3,921	2.4%	92		
食品原料・機能性食品	3,981	4,341	9.1%	361		
その他	1,921	1,915	△0.3%	△5		
営業利益	614	398	△35.1%	△216	360	110.6%
医薬品	142	100	△29.7%	△42		
医薬品原料・化粧品原料	476	508	6.6%	31		
化粧品	68	△152	—	△220		
食品原料・機能性食品	162	163	0.3%	1		
その他	30	72	134.6%	41		
調整額	△267	△293	—	△26		
経常利益	581	493	△15.3%	△89	380	129.8%
四半期純利益	318	215	△32.5%	△104	230	93.6%

# セグメント別の概況①

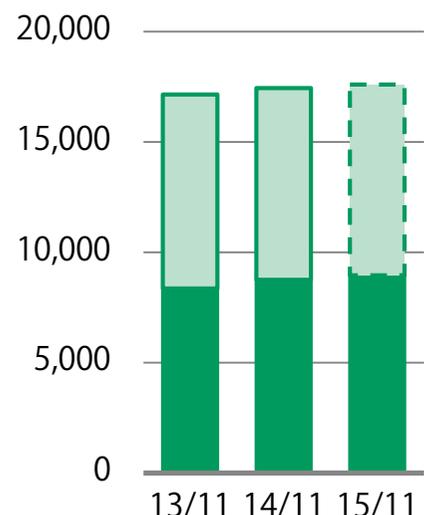
## 医薬品

ジェネリック医薬品の好調により増収となるも減益

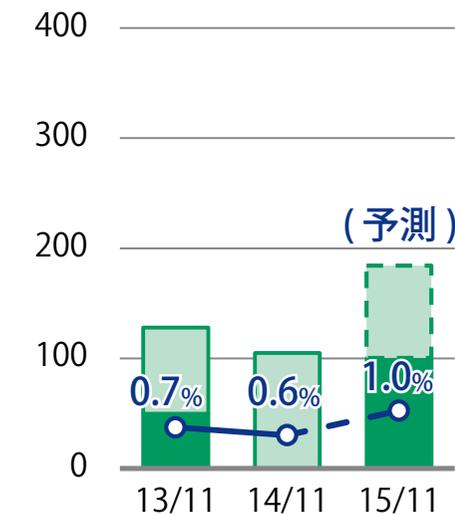
ジェネリック医薬品は外皮用剤のうち、抗真菌剤やアトピー性皮膚炎治療薬が新規採用の拡大により好調に推移

ドラッグストア向け商品では、新規取扱商品の増大、自社企画品の拡大および免税店への販売の伸長により堅調に推移

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



■ 第2四半期累計期間

■ 通期

— 営業利益率

## 医薬品原料・化粧品原料

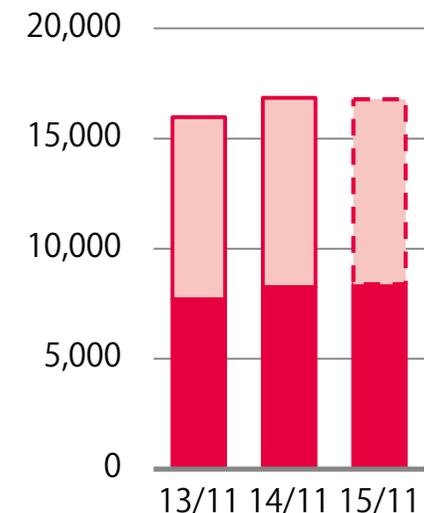
ジェネリック医薬品向けを中心に増収・増益

医療用医薬品原料は、合成抗菌剤原料や受託品の血圧降下剤原料が大幅に伸長

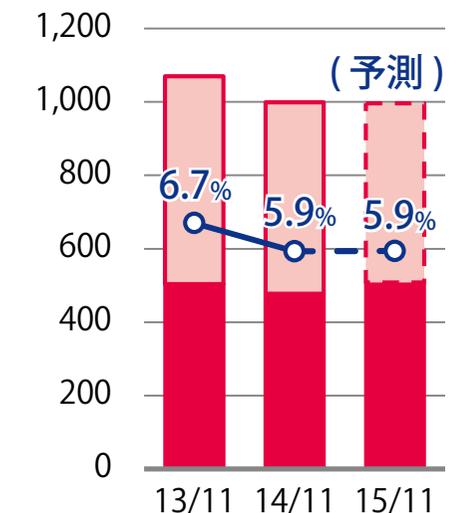
一般用医薬品原料は、主力の血管収縮剤原料が原料入手難の影響により低調、また鎮咳去痰剤原料も低調に推移

化粧品原料は、主力原料の新規採用、受託原料の伸長もあり好調に推移

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



■ 第2四半期累計期間

■ 通期

— 営業利益率

# セグメント別の概況②

## 化 成 品

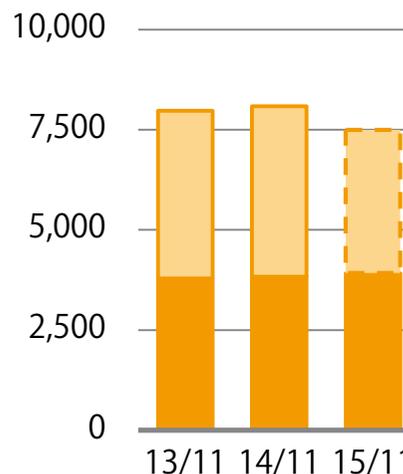
海外市況の低迷により営業損失拡大

国内では、プリント配線板向け薬品が堅調に推移

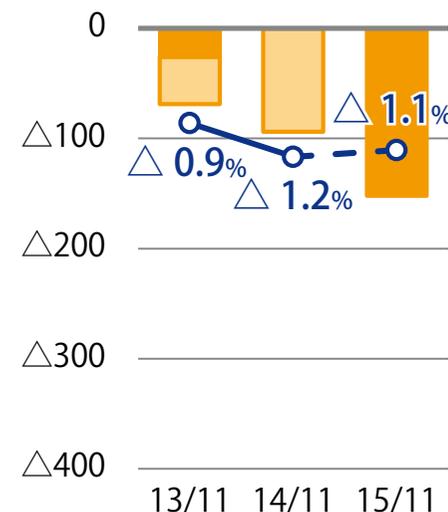
海外では、チップ部品向け薬品が大手顧客のスマートフォン販売低迷の影響を受けて低調に推移

化学品原料は、特殊溶剤や表面処理薬品原料および樹脂添加剤が堅調に推移したものの、汎用溶剤や医農薬原料が低調に推移

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



■ 第2四半期累計期間

■ 通期 — 営業利益率

## 食品原料・機能性食品

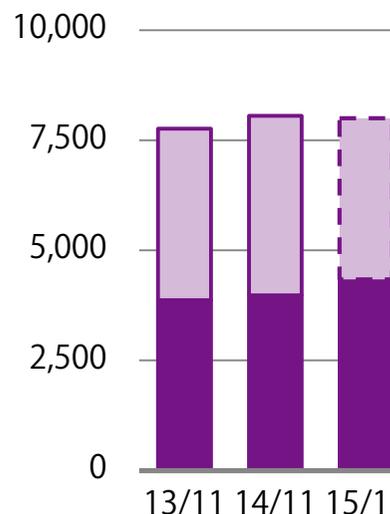
機能性食品を中心に増収となるも、営業利益はほぼ横ばい

食品原料は、国内仕入品は、糖化製品の顧客開拓と新規取扱原料の増加により伸長

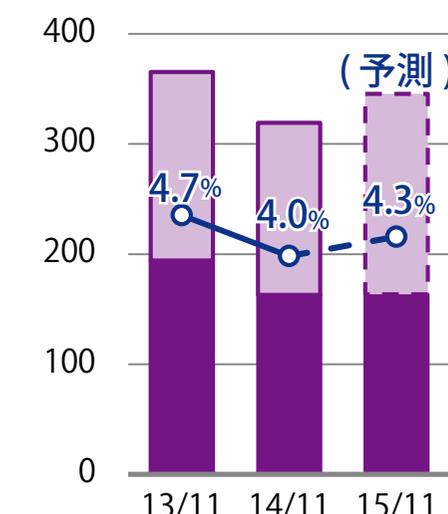
輸入品は、酵母エキスの新規採用や乾燥野菜・冷凍野菜の需要増により伸長

機能性食品は、取扱い原料の新規採用と既存品の拡大により、全体としては好調に推移

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



■ 第2四半期累計期間

■ 通期 — 営業利益率

(単位：百万円)

< 資産の部 >	2014年11月 期末	2015年11月 第2四半期	増減額	< 負債・純資産の部 >	2014年11月 期末	2015年11月 第2四半期	増減額
現金・預金	4,341	4,413	71	支払手形・買掛金 <sup>※2</sup>	12,492	12,528	36
受取手形・売掛金 <sup>※1</sup>	16,802	16,606	△196	短期借入金	3,730	3,400	△330
棚卸資産	4,999	5,202	203	その他流動負債	2,411	2,305	△106
その他流動資産	1,122	772	△350	長期借入金	927	892	△35
有形固定資産	8,048	8,083	34	その他固定負債	2,775	2,835	59
無形固定資産	311	268	△43	負債合計	22,336	21,961	△375
投資その他資産	4,090	4,472	382	株主資本	16,353	16,505	152
				その他の包括利益累計額	1,026	1,351	324
				純資産合計	17,379	17,857	477
資産合計	39,716	39,818	102	負債・純資産合計	39,716	39,818	102

※1 「受取手形・売掛金」には電子記録債権を含みます。 ※2 「支払手形・買掛金」には電子記録債務を含みます。

(単位：百万円)

	2014年11月期 第2四半期	2015年11月期 第2四半期	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>591</b>	<b>730</b>	<b>139</b>
税金等調整前四半期純利益	578	490	△ 87
減価償却費	376	456	79
その他	△ 363	△ 215	147
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 544</b>	<b>△ 104</b>	<b>439</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 271	△ 297	△ 25
無形固定資産の取得による支出	△ 55	△ 8	46
その他	△ 216	201	418
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 444</b>	<b>△ 566</b>	<b>△ 121</b>
短期借入金の増減額 (△は減少)	△ 200	△ 300	△ 100
長期借入金の増減額 (△は減少)	△ 81	△ 65	16
配当金の支払額	△ 100	△ 101	0
その他	△ 62	△ 100	△ 37
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 398</b>	<b>71</b>	<b>470</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>3,305</b>	<b>4,196</b>	<b>890</b>

## 2015 年 11 月期 通期の見通し

2015年11月期通期につきましては、重点事業領域の拡大、生産性の向上、海外拠点の整備などに注力してまいります。

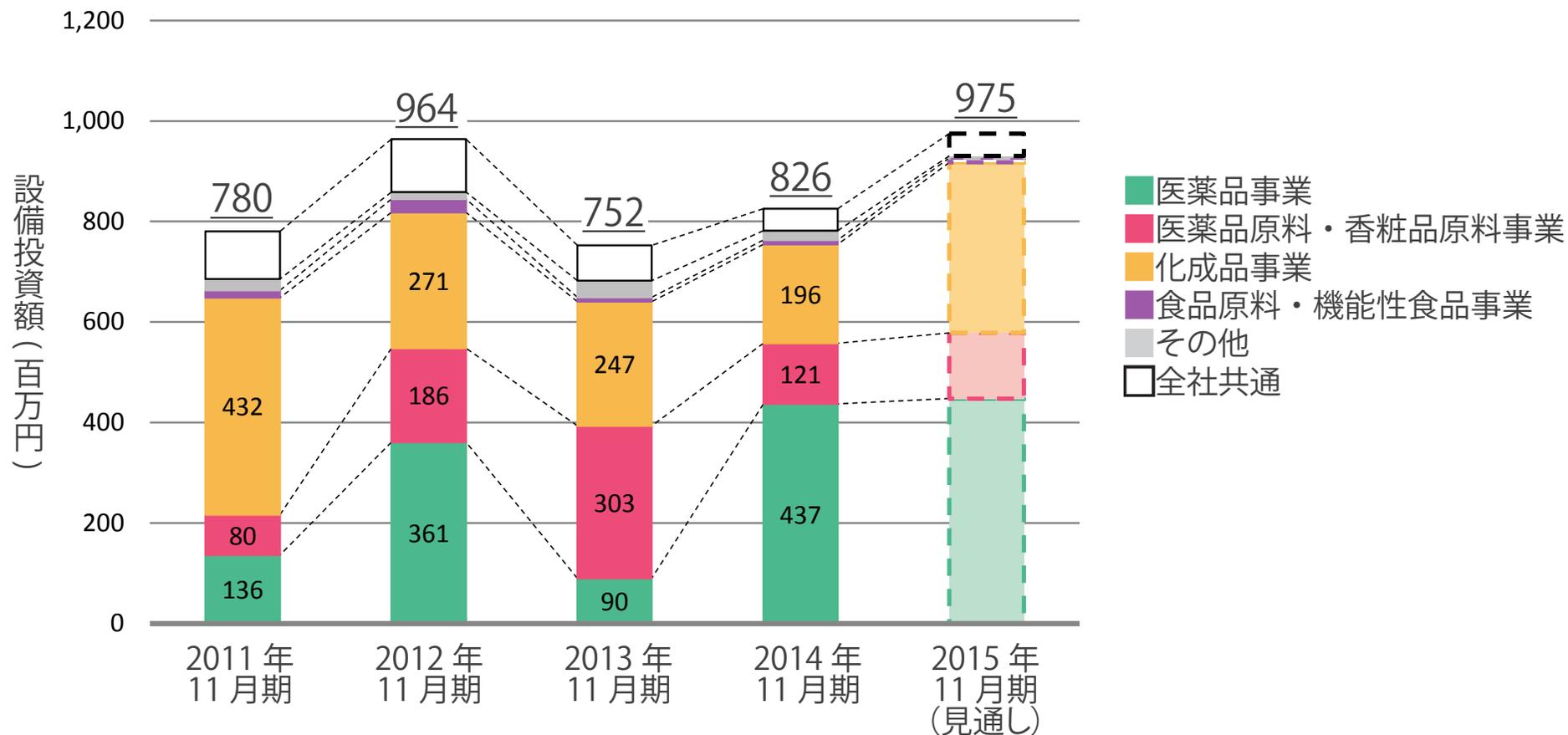
(単位：百万円)

	上半期実績		通期予想	前期比	前期比増減額
		通期進捗率			
売上高	27,516	51.9%	53,000	△ 2.1%	△ 1,145
営業利益	398	44.3%	900	1.1%	9
経常利益	493	51.9%	950	△ 2.2%	△ 22
四半期(当期)純利益	215	35.9%	600	18.7%	95

設備投資については、生産能力・研究開発力向上に向けて積極的な設備投資を行ってまいります。

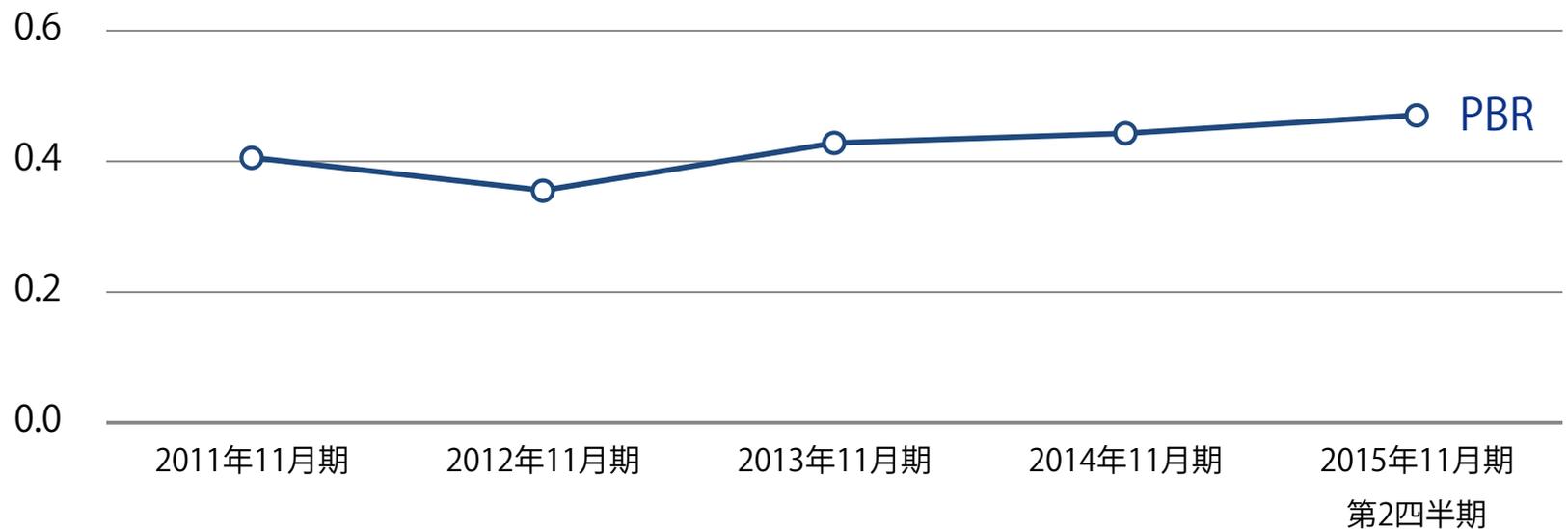
2015年11月期の主な設備投資は以下の通りです。

- 上半期実施・・・
  - ローション充填ライン(岩城製薬(株)蒲田工場)
  - 分析装置など(メルテックス(株))
- 下半期予定・・・
  - 打錠機(岩城製薬(株)蒲田工場)
  - F-5(医薬品原料)ライン増設(岩城製薬(株)静岡工場)



当社は将来にわたって経営基盤の強化と収益の向上を図り、株主の皆様への安定的かつ継続的な成果の配分を行うことを基本方針としております。

	単位	2011年 11月期	2012年 11月期	2013年 11月期	2014年 11月期	2015年 11月期(予想)
E P S	円	54.37	21.88	22.34	14.96	17.77
配 当 金	円/株	7.00 メルテックス(株) 完全子会社化による 特別配当(1.00円)	6.00	6.00	7.50 100周年記念配当 (1.50円)	6.00
配 当 性 向	%	12.9	27.4	26.9	50.1	33.8
P B R	倍	0.41	0.36	0.43	0.44	0.47



## 主要子会社の取り組み

岩城製薬においてはジェネリック医薬品および医薬品原料市場へ注力すべく、積極的な設備投資を行い需要の取り込みを図ってまいります。

### 医薬品

- ①設備投資（蒲田工場）
  - ・ 打錠機のリプレイス及びローション充填機の追加設置による生産能力増強
- ②製造委託の推進
  - ・ 今回予定分につき7月8日承認書取得、製造開始
- ③新製品の投入
  - ・ 引き続きジェネリック医薬品の新製品を投入予定



<ローション充填機>

### 医薬品原料

- ①設備投資（静岡工場）
  - ・ GMP\*適合工場となったF-5の生産ライン増設（現行2ラインを3ラインへ、今期中に完成）
- ②新製品投入
  - ・ 医薬品原料の新規開発案件やジェネリック医薬品原料開発を推進
  - ・ 各ジェネリック医薬品メーカーと技術打ち合わせを継続



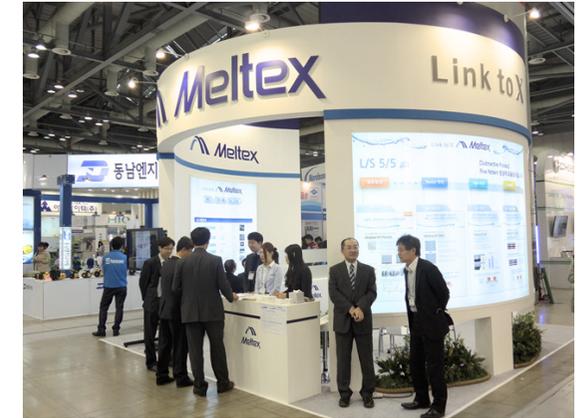
<F-5 GMP 適合工場設備>

\* "Good Manufacturing Practice" の略称で医薬品の製造管理、品質管理について定めた基準のこと

メルテックスにおいては、自動車・エレクトロニクス産業等に関連した成長市場を見極め、タイムリーな新製品投入と海外拠点のさらなる充実を図ります。

## 海外拠点の概況

- 海外拠点の現地化の推進  
現地ローカル企業とのアライアンス強化  
海外製販体制整備推進  
ローカルスタッフ強化の推進
- 中国販売拠点の再構築（深圳分公司）  
危険品ライセンスの取得が遅れるも  
下半期からの稼働を予定

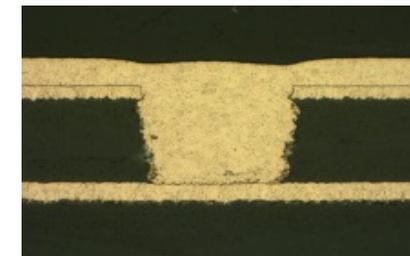


<韓国展示会出展 (KPCA) >

## 新製品の概況

- 新製品の拡販状況（高密度パッケージ基板向けなど）  
<2014年度発売済み>  
海外大手パッケージ基板メーカーで最終評価段階  
その他引き合いもあり、評価テスト実施中
- 新製品の発売（硫酸銅めっき添加剤 ルーセントカパーシリーズ）  
<2015年度発売済み>  
硫酸銅めっき添加剤の新標準シリーズで、平均膜厚など各種性能向上  
2年後に売上高 15 億円を目指す（2015年発売の他の新製品も含む）  
継続して評価テストを数十社で実施中

ルーセントカパー SVF



<硫酸銅めっき添加剤>







本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

問い合わせ窓口 経営企画部 瀬戸口  
加賀谷  
tel:03-3279-0564